

The Council of College English Teachers

全国高等専門学校英語教育学会

第 39 回研究大会要綱

期日：平成 27 年 9 月 11 日(金)～13 日(日)

会場：京都府中小企業会館 7 階

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町 17 番地

(西大路五条下ル東側)

Phone: 075-314-7171

主催：全国高等専門学校英語教育学会 (C O C E T)

INDEX :

平成 27 年度学会運営組織	p.1
大会プログラム	pp.2-4
使用会場配置図	pp.5-8
研究発表要旨	pp.9-42
賛助会員紹介	pp.43-50
平成 27 年度会員一覧	p.51

平成 27 年度 全国高等専門学校英語教育学会 運営組織

役員

- ・会長 竹田恒美 (東京)
- ・副会長 奥崎真理子 (函館) 森岡 隆 (和歌山)
- ・理事 小野真嗣 (苫小牧) 阿部 恵 (八戸)
- 武田 淳 (仙台・名取) 畠山喜彦 (一関)
- 瀬川直美 (木更津) 青山晶子 (富山・本郷)
- 中井洋生 (鈴鹿) 井上英俊 (明石)
- 服部真弓 (松江) 南 優次 (宇部)
- 森 和憲 (香川・詫間)
- ・会計監査 嵯峨原昭次 (鹿児島) 檜村真由 (東京)
- ・幹事 松田奏保 (東京)

顧問

- 大西俊男 (第 5 代会長) 奥村平治 (第 6 代会長)  
松林嘉熙 (第 7 代会長) 小寺光雄 (第 10 代会長)

特別会員

- 久保田郁夫 (元高田短大学長)  
諏訪部真 (清泉女学院短大)  
幸野 稔 (元秋田大学)  
早坂高則 (元奥羽大学教授)  
小町谷恩 (元沼津工業高等専門学校)  
田邊達雄 (呉工業高等専門学校名誉教授)  
竹内 訓 (旭川工業高等専門学校名誉教授)  
田中豊穰 (鳥羽商船高等専門学校名誉教授)  
渡辺洋太郎 (福島工業高等専門学校名誉教授)  
佐々木孝臣 (元都城工業高等専門学校)  
中村次男 (大島商船高等専門学校名誉教授)  
崎山 強 (都城工業高等専門学校名誉教授)  
宮奥正道 (大島商船高等専門学校名誉教授)

事務局

国立東京工業高等専門学校 一般教育科 竹田恒美研究室  
〒193-0997 東京都八王子市柵田町 1220-2  
Phone & FAX : 042-668-5146(竹田研究室直通)  
e-mail : [office@cocet.org](mailto:office@cocet.org)  
COCET WEB : <http://cocet.org/>

# 第 39 回研究大会プログラム

## 1. 日程

◎第 1 日 9 月 11 日(金) 15:00~17:00 理事会 (702 会議室)

◎第 2 日 9 月 12 日(土)

10:30 ~ 11:30	11:30 ~	12:20 ~ 12:50	13:00 ~ 14:30	14:30 ~ 14:50	14:50~16:05 休憩 (展示閲覧) 20 分 16:25~17:40	18:00 ~ 20:00		
情 報 交 換 会	受 付	総 会 賛 助 会 員 展 示	特 別 講 演 展 示	写 真 撮 影 憩	研 究 発 表 1 日 目		懇 親 会	
					[ 1 ]	[ 7 ]		[ 1 2 ]
					[ 2 ]	[ 8 ]		[ 1 3 ]
					[ 3 ]	[ 9 ]		[ 1 4 ]
					[ 4 ]	[ 1 0 ]		[ 1 5 ]
					[ 5 ]	[ 1 1 ]		[ 1 6 ]
[ 6 ]						[ 1 7 ]		
賛 助 会 員 展 示 ( 7 0 3 会 議 室 )								

◎第 3 日 9 月 13 日(日)

9:00~10:15 休憩 (展示閲覧) 20 分 10:35~11:50			11:50 ~ 13:00	13:00 ~ 14:30	14:30 ~ 14:50	15:00 ~ 17:00
研 究 発 表 2 日 目			昼 休 み	フ オ ー ラ ム	閉 会 行 事	サ ー ク ロ ー ン C O E T
[ 1 8 ]	[ 2 4 ]	[ 3 0 ]				
[ 1 9 ]	[ 2 5 ]	[ 3 1 ]				
[ 2 0 ]	[ 2 6 ]	[ 3 2 ]				
[ 2 1 ]	[ 2 7 ]	[ 3 3 ]				
[ 2 2 ]	[ 2 8 ]	[ 3 4 ]				
[ 2 3 ]	[ 2 9 ]					
賛 助 会 員 展 示 ( 7 0 3 会 議 室 )						

## 2. 情報交換会 9 月 12 日 (土) 10:30~11:30 (710 会議室)

司会進行役： 森 和憲 (香川高専 詫間キャンパス)

報告者： 阿部恵 (八戸高専)

「高専の国際戦略」：国立高専機構国際交流センターでは、高専の国際戦略についてこれまでの取り組みを踏まえ、委員会制からプロジェクト制にするなど組織・運用面でかなりの手直しを進めている。そうした変化が

各高専で行なわれている国際交流事業、あるいは英語教育の取り組みとどのように切り結ぶのか考えてみたい。

### 3. 総会 9月12日(土) 12:20~12:50 (710会議室)

- ・平成26年度の活動報告及び平成27年度の活動計画
- ・平成26年度の決算報告及び27年度予算
- ・新年度人事、その他

### 4. 特別講演 9月12日(土) 13:00~14:30 (710会議室)

講演：玉井健先生（神戸市外国語大学国際関係学科および大学院英語教育学専攻教授）

演題：「実践者による英語教育研究：リフレクティブ・プラクティスをめぐる理論と方法、問題」

（\*講演概要は次のページをご参照ください）

講師略歴：神戸市内の公立高校で15年間教鞭をとる。MA (School for International Training、米国)、学術博士(神戸大学)。研究テーマは、リスニング指導法としてのシャドーイング研究、文化的抑制要因としての儒教価値観研究、現在の関心分野はリフレクティブ・プラクティスによる教師教育、授業研究法開発。

著書・論文：

「リフレクティブ・プラクティスと教師の成長」『英語教育』大修館(2010)

「リフレクティブ・プラクティスー教師の教師による教師のための授業研究」『リフレクティブな英語教育をめざして』（共著）ひつじ書房(2009)

『リスニング指導法としてのシャドーイングの効果に関する研究』風間書房(2005)

『決定版英語シャドーイング』（共著）コスモピア(2004)

「シャドーイングと外国語学習」『スペシャリストによる英語教育の理論と応用』松柏社(2008)

*Confucianism as cultural constraint and its effect on Japanese self-expressiveness*, [Researching Language Teaching and Learning: An Integration of Practice and Theory](#) (単著) Peter Lang(2009)など

趣味：陶芸、テニス。最近お茶を始めた。

### 5. 賛助会員展示 9月12日(土)・13日(日) (703会議室)

今年度のコセット研究大会は、次の賛助会員の皆様のご支援を得て開催されます。

大会期間中、賛助会員各社の教材や書籍等の展示を行っています。

休憩時間を利用して、ぜひご覧いただきますようお願いいたします。

一般財団法人

国際ビジネスコミュニケーション協会

株式会社内田洋行

株式会社アルク教育社

株式会社いいずな書店

株式会社インフィニテック

特定非営利活動法人

英語運用能力評価協会 ELPA

チエル株式会社

カシオ計算機株式会社

シードラーニング株式会社

リアリーイングリッシュ株式会社

## 6. 特別講演

「実践者による英語教育研究：リフレクティブ・プラクティスをめぐる理論と方法、問題」

神戸市外国語大学国際関係学科および大学院英語教育学専攻教授

玉井 健

### 【講演概要】

英語教育研究は、そもそも教室でティーチングという営みを行う実践者の疑問と共に生まれ、リサーチとして育っていくものでした。ところがいつの間にか、課題は外からやってきて、研究者（と称する人達）が過程や分析、結論の引き出し全てを自らのものにしてしまい、実践者は研究者にデータを提供するだけの存在になってしまった観があります。英語教育に関わる実践者と研究者は、今や一つの傘の下ではなく色の違う別々の傘をさしているわけです。

これにはいくつもの理由が考えられるでしょうが、本講演では特に、学界や文科省の用いる「科学的」という言葉の解釈と、英語教育研究をとらえる理論的視座の未発達にその原因を求めて議論してみたいと思います。

手がかりとして3つの問いを立ててみます。一つは、英語教育研究を科学たらしめているものは何なのか。二つ目は、その科学的方法は、日々教室で起こる現象を適切に説明し実践者や学習者の生活の向上に貢献しえるものになっているかどうか。言いかえると授業研究は誰のためにあるのか。三つ目は、リフレクションとは何であり、リフレクションを用いた授業研究法とはどのようなものかです。

本講演では、こうした問いへの答えを求めつつ、英語教育と科学、あるいは研究との関係について考えなおし、リフレクティブ・プラクティスを実践に迫るアプローチの一つと位置づけたうえで、それを可能にする考え方、それに伴う問題点やむずかしさを皆さんと共有したいと思っています。

## 7. 研究発表 1 日目 9 月 12 日 (土)

発表：予鈴 12 分、終鈴 15 分、質疑 5 分、入替 5 分

会場・司会	708 号室・阿部 恵	709 号室・森 和憲	710 号室・竹田 恒美
14:50 ~ 15:15	[1] 酒井 康宏(米子) 選択外国語『英米文学』の履修状況からみたひとつの方向性	[7] 八鳥 吉明・大野佳代子(群馬) 高専生に必要な語彙を求めてー学習用語彙リストを用いた語彙データベースの構築とその検証	[12] 岡田 晃(小山) 国際交流事業が及ぼす英語学習へのモチベーションについて
15:15 ~ 15:40	[2] 大森 誠・服部真弓(松江) 高専 1 年生の多読に対する学習意欲の持続性の検証	[8] 飯野 一彦(群馬)・藤枝美徳 (京都医療科学大学) SNS に展開する英語によるディスカッション・ボードの構築と実践	[13] 清水 義彦(富山・射水 C) 高専生の国際競争力を高める
15:40 ~ 16:05	[3] 瀬川 直美・山本長紀(木更津) 木更津高専における語彙学習の実践報告ー教科を横断した COCET 2600 を活用した取り組みー	[9] 亀山 太一(岐阜) 手書き認識を利用した英語 E ラーニング教材の開発	[14] 松田 奏保(東京) 国際化教育へ向けた連携のあり方ー組織論の観点からー

16:05~16:25 展示閲覧 (703 号室) 休憩(20 分)

会場・司会	708 号室・瀬川 直美	709 号室・奥崎 真理子	710 号室・森岡 隆
16:25 ~ 16:50	[4] 永井 誠・延原みか子(都立産技・荒川 C) 分詞構文の教授における認知的アプローチの効果	[10] 海上 順代(都立産技・品川 C) 高専低学年生へのライティングの指導	[15] 檜村 真由(東京) 海外インターンシップが英語学習及び使用に与える影響についてー 英語運用能力自己評価と国際理解度の観点から
16:50 ~ 17:15	[5] 林 幸利(釧路) 英検準 2 級全員受験と英検準 2 級レベル到達への取り組みー 10 年目の総括ー	[11] 水野 知津子(香川・宅間 C) 英語嫌いを減らし、実践的英語力向上を目指す試みー協働活動と音読を中心にしてー	[16] 阿部 恵(八戸) 短期海外研修プログラムの効果ー参加学生の変化に関する研究ー

17:15 ～ 17:40	[6] 関文雄(熊本・八代 C)、大里浩文(佐世保) 自発的学習につながる授業への取り組み		[17] 岩下 いずみ(熊本・八代 C) ヨーク大学における語学授業見学報告と考察
---------------------	--	--	--

## 8. 懇親会 9月12日(土) 18:00～20:00 京都中小企業会館 802会議室

恒例の懇親会を、今年も開催いたします。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。(会費:5,000円)

## 9. 研究発表2日目 9月13日(日)

発表:予鈴12分、終鈴15分、質疑5分、入替5分

会場・司会	708号室・南 優次	709号室・中井 洋生	710号室・武田 淳
9:00 ～ 9:25	[18] 奥崎 真理子(函館) クラスルームリサーチ:ある学生の英語学習マインド	[24] 高越義一(富山・本郷C) オーラルアプローチによる英語授業の改善(2)	[30] 青砥 正彦(米子) モデルコアカリキュラムに基づいた can do list の作成の試み
9:25 ～ 9:50	[19] 前田 哲宏(奈良) 高専生の英語学習動機とメタ認知方略使用が学習成果に及ぼす影響について	[25] 鈴木基伸(豊田) インタープリティブ・リーディングを応用した授業実践	[31] 服部 真弓(松江) Approach to an Integrated English Curriculum—コアカリキュラムを踏まえて—
9:50 ～ 10:15	[20] 上杉 鈴一(広島商船) 偏差値50前後の高専生の英語の弱点について—暗唱文の一部を入れ替える小テストの結果より—	[26] 久保田 佳克(仙台・広瀬C) 英問英答と内容理解	[32] 森岡 隆(和歌山) GTECによる授業改善の試み

## 10:15~10:35 展示閲覧(703号室) 休憩(20分)

会場・司会	708号室・畠山 喜彦	709号室・服部 真弓	710号室・奥崎 真理子
10:35 ～ 11:00	[21] 安木 真一(津山) 高専の英語授業で有効な指導法の研究—高校名人教師の指導法を参考にして	[27] 鈴木 章子(米子) Content Based Instruction (CBI)の考えを授業に反映させる取り組み	[33] 岸 洋一(サレジオ) 学生が学生を評価することで授業が活気づく—平易な英文の教材を用いながら—
11:00 ～ 11:25	[22] 市川 研(香川・高松C) 英語授業におけるルール設定—ルールと授業内容を改めて考える—	[28] 飯島淑江(沖縄) CLIL(内容言語統合型学習法)に基づく新しい高専英語教育のためのシステム構築	[34] 武田 淳(仙台・名取C) アクティブ・ラーニング実践報告—反転学習とクリッカー—

<b>11:25</b> ~ <b>11:50</b>	[23] 嵯峨原 昭次(鹿児島) 学生主体の英語部の活動(鹿児島 高専課外活動の一例)	[29] 森 和憲(香川・宅間 C) ロボティクスをテーマにした英 会話授業の試み: Lego We Do と Lego Minstorms EV3 を利用して	
-----------------------------------	---	---	--

## 10. フォーラム 9月13日(日) 13:00~14:30 (710会議室)

司会・コーディネーター: 森岡 隆(和歌山高専)

パネリスト: 服部真弓(松江高専)、城本春佳(阿南高専)

コアカリキュラムの確定版が高専機構から示されたのを受けて、実践化に向け、現在どの高専でも具体的なプランを構築しつつある。たとえばシラバスはそれを実際の授業計画に落とし込んだものであり、これを参照することでその高専の教育内容を容易に理解することができる。

高専の英語教育に大きな影響はないものの、コアカリキュラム構築に付随して、新たにあるいは改めて教育指標を示すことが必要となっている。現在では、Can-Doリストを用いてその指標を示すのがおそらくもっともポピュラーであろうし、今回のCOCET大会でも2名がこのトピックで研究発表をする。

そこでこのフォーラムでは、Can-Doリストの構築とそれをさらに細分化したルーブリックの導入をテーマにして、高専の英語教育の教育指標の最前線を紹介、報告する。とりわけ、高専機構が主導し阿南高専が担当した「国際コミュニケーション育成事業:学生の英語力向上プログラム」(2年間、10高専が参加)で試みた、全国高専の英語の共通カリキュラムの雛形の作成については、担当校の城本先生(阿南高専)にお話いただく。

当フォーラムのプログラムは以下のとおり。

- 1)このフォーラムの趣旨とプログラム構成の紹介(和歌山高専 森岡)
- 2)松江高専におけるコアカリキュラムの実践法(松江高専 服部)
- 3)「英語の教育方法改善」プロジェクト内の「共通カリキュラム構築」についての報告(阿南高専 城本)
- 4)松江高専以外のプロジェクト参加校の例(和歌山高専 森岡)
- 5)質疑応答
- 6)可能であれば、プロジェクト外の高専の試み

\*時間の余裕があれば、本フォーラムで扱う教育指標以外の教育指標も紹介したい。

## 11. COCET サロン 9月13日(日) 15:00~17:00 (710号室)

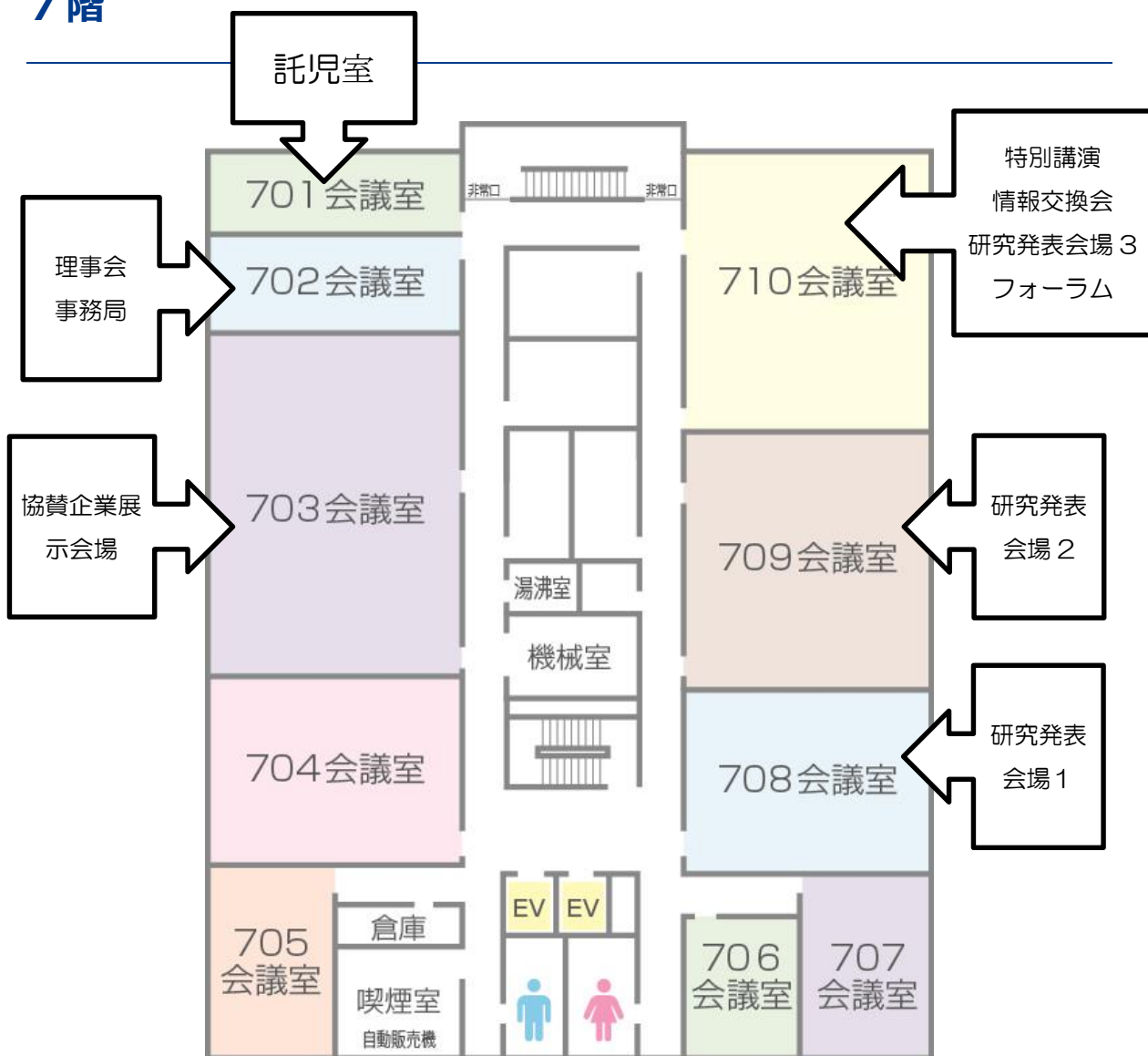
2日間の大会を終えてなお「もっと語りたい」「もっと聞きたい」という会員の皆様のために、インフォーマルな雰囲気でのディスカッション、情報交換の場を設けました。個人で、グルー



プで、自由に語り合ひましよう。

## <京都中小企業会館会場図>

### 7階



懇親会場は発表会場の1階・8階の802号室です。  
懇親会は18時開宴を予定しており、10分前には開場いたします。

京都ならではの料理もございます。

ぜひ皆さまご参加ください！

## 平成 27 年度 COCET 会員名簿

### 団体会員 56 高専(キャンパス)

函館工業高等専門学校  
旭川工業高等専門学校  
苫小牧工業高等専門学校  
釧路工業高等専門学校  
八戸工業高等専門学校  
一関工業高等専門学校  
仙台高等専門学校  
(名取キャンパス)  
仙台高等専門学校  
(広瀬キャンパス)  
秋田工業高等専門学校  
鶴岡工業高等専門学校  
福島工業高等専門学校  
茨城工業高等専門学校  
群馬工業高等専門学校  
木更津工業高等専門学校  
東京工業高等専門学校  
都立産業技術高等専門学校  
(荒川キャンパス)  
都立産業技術高等専門学校  
(品川キャンパス)  
サレジオ工業高等専門学校  
長岡工業高等専門学校  
長野工業高等専門学校  
富山高等専門学校  
(本郷キャンパス)  
富山高等専門学校  
(射水キャンパス)  
石川工業高等専門学校  
福井工業高等専門学校  
岐阜工業高等専門学校  
沼津工業高等専門学校  
豊田工業高等専門学校

鳥羽商船高等専門学校  
鈴鹿工業高等専門学校  
大阪府立大学工業高等専門学校  
舞鶴工業高等専門学校  
明石工業高等専門学校  
奈良工業高等専門学校  
和歌山工業高等専門学校  
神戸市立工業高等専門学校  
米子工業高等専門学校  
松江工業高等専門学校  
津山工業高等専門学校  
広島商船高等専門学校  
呉工業高等専門学校  
徳山工業高等専門学校  
宇部工業高等専門学校  
香川高等専門学校  
(詫間キャンパス)  
新居浜工業高等専門学校  
弓削商船高等専門学校  
高知工業高等専門学校  
久留米工業高等専門学校  
有明工業高等専門学校  
北九州工業高等専門学校  
佐世保工業高等専門学校  
熊本高等専門学校  
(八代キャンパス)  
熊本高等専門学校  
(熊本キャンパス)  
大分工業高等専門学校  
都城工業高等専門学校  
鹿児島工業高等専門学校  
沖縄工業高等専門学校

### 個人会員 3 名

市川研 (香川高等専門学校・高松キャンパス)  
岡田晃 (小山高等専門学校)  
城本春佳(阿南高等専門学校)

### 賛助会員 11 社(アイウエオ順)

- ・ 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会
- ・ カシオ計算機株式会社
- ・ 株式会社アルク教育社
- ・ 株式会社いいずな書店
- ・ 株式会社インフィニテック
- ・ 株式会社内田洋行
- ・ 株式会社成美堂
- ・ シー ドラワーニング株式会社
- ・ チェル株式会社
- ・ 特定非営利活動法人英語運用能力評価協会 ELPA
- ・ リアリーイングリッシュ株式会社